

平成23年度 第30回全国高校生建築製図コンクール結果報告

製図コンクール運営委員会 委員長 鈴木浩之

第30回全国高校生建築製図コンクールには、東日本建築教育研究会の加盟校および加盟校以外の先生方から、校務ご多忙にもかかわらず絶大なるご協力を頂きました事を厚くお礼申し上げます。

1 応募状況

(1) 応募校数

応募校数		全日制		定時制	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
67	73	61	66	6	7

加盟校				加盟校以外			
全日制		定時制		全日制		定時制	
H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22
50	56	6	7	11	10	0	0

2 応募作品数

(1) 課題1

応募総数				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
57	144	61	134	53	136	58	127	4	8	3	7

加盟校								加盟校以外							
全日制				定時制				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
45	116	50	109	4	8	3	7	8	20	8	18	0	0	0	0

(2) 課題2

応募総数				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
29	55	31	51	28	54	28	48	1	1	3	3

加盟校								加盟校以外							
全日制				定時制				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
22	45	24	40	1	1	3	3	6	9	4	8	0	0	0	0

(3)課題3

応募総数				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
28	57	37	65	27	54	34	59	1	3	3	6

加盟校								加盟校以外							
全日制				定時制				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
23	48	31	55	1	3	3	6	4	6	3	4	0	0	0	0

(4)課題4

応募総数				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
13	31	12	14	12	30	12	14	1	1	0	0

加盟校								加盟校以外							
全日制				定時制				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
11	27	11	13	1	1	0	0	1	3	1	1	0	0	0	0

(5)課題5

応募総数				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
9	16	12	16	9	16	12	16	0	0	0	0

加盟校								加盟校以外							
全日制				定時制				全日制				定時制			
H23		H22		H23		H22		H23		H22		H23		H22	
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
7	11	11	15	0	0	0	0	2	5	1	1	0	0	0	0

3 各学校内における作品審査数の総計

(1) 課題1

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
1630	1796	1491	1573	139	223

(2) 課題2

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
650	578	591	513	59	65

(3) 課題3

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
626	584	564	557	62	27

(4) 課題4

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
169	52	162	45	7	7

(5) 課題5

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
86	53	77	43	9	10

4 各課題別の応募総数と入賞者一覧

課題1:軒先マワリ詳細図

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
144	134	124	116	20	18

No	賞	学校名	科名学年	生徒氏名
1	金賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科1年	井上貞志
2	銀賞	栃木県立小山北桜高等学校	建築システム科1年	岡部くるみ
3	銀賞	静岡県立科学技術高等学校	建築デザイン科1年	藤波友希
4	銅賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築土木科1年	杉浦愁梨
5	銅賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科1年	中本豊
6	銅賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科1年	元島由貴
7	銅賞	広島市立広島工業高等学校	建築科1年	湯浅和也
8	入賞	神奈川県立藤沢工科高等学校	総合技術科2年	小田祐輔
9	入賞	神奈川県立藤沢工科高等学校	総合技術科2年	守屋舞
10	入賞	神奈川県立藤沢工科高等学校	総合技術科2年	宮田ひかる
11	入賞	佐賀県立鳥栖工業高等学校	建築科2年	武富 智明
12	入賞	仙台市立仙台工業高等学校	建築科2年	佐藤篤使
13	入賞	群馬県立高崎工業高等学校	建築科1年	丸岡楓也
14	入賞	埼玉県立熊谷工業高等学校	建築科1年	北浦由樹
15	入賞	宮城県石巻工業高等学校	建築科1年	鈴木杏南
16	入賞	福井県立武生工業高等学校	都市建築科1年	吉羽健悟
17	入賞	東京都立墨田工業高等学校	総合技術科2年	竹内稔
18	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築土木科1年	鈴木瑠夏
19	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築土木科1年	森上富美子
20	入賞	愛媛県立吉田高等学校	建築科1年	三浦恵美
21	入賞	仙台市立仙台工業高等学校	建築土木科2年	横山顕由

課題2:木造平家建専用住宅

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
55	51	46	43	9	8

No	賞	学校名	科名学年	生徒氏名
1	金賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科2年	野竹紗英
2	銀賞	関市立関商工高等学校	建設工学科2年	田口彩乃
3	銀賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科3年	鳴海智一
4	銅賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科2年	木村里紗
5	銅賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科2年	上野拓摩
6	銅賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	柴谷優汰
7	銅賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	福田奎也
8	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科2年	田山隆祥
9	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科2年	古川亮
10	入賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科2年	塩澤紀世孝
11	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	木下恵太
12	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	深沢司
13	入賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科2年	岩永巧
14	入賞	岐阜県立高山工業高等学校	建築インテリア科2年	山下麗奈
15	入賞	埼玉県立熊谷工業高等学校	建築科2年	戸井田愛美
16	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	戸田明
17	入賞	愛媛県立松山工業高等学校	建築科2年	松浦未季
18	入賞	松山聖陵高等学校	建築科2年	花本滉揮
19	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科2年	鈴木稔真
20	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科2年	古橋毅
21	入賞	広島市立広島工業高等学校	建築科2年	田中奈生耶
22	入賞	松山聖陵高等学校	建築科2年	宮下勇樹

課題3:木造2階建専用住宅

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
57	65	51	61	6	4

No	賞	学校名	科名学年	生徒氏名
1	金賞	関市立関商工高等学校	建設工学科3年	西部泰輔
2	銀賞	新潟県立上越総合技術高等学校	建築・デザイン科3年	井部雄介
3	銀賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科3年	安達大貴
4	銅賞	関市立関商工高等学校	建設工学科3年	古川聡大
5	銅賞	岐阜県立高山工業高等学校	建築インテリア科3年	熊崎彩花
6	銅賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科3年	長谷川楓
7	銅賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科3年	渡邊拳
8	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科3年	渡部恒也
9	入賞	宮城県古川工業高等学校	建築科2年	廣瀬美玖
10	入賞	新潟県立上越総合技術高等学校	建築・デザイン科3年	西條夏美
11	入賞	岐阜県立大垣工業高等学校	建設工学科3年	林裕之
12	入賞	愛知県立半田工業高等学校	建築科3年	漸井雅
13	入賞	愛知県立半田工業高等学校	建築科3年	島本悠矢
14	入賞	愛知県立半田工業高等学校	建築科3年	山下和馬
15	入賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築科3年	齋藤恵多
16	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科3年	大塚一樹
17	入賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科3年	羽石尚暉
18	入賞	岐阜県立高山工業高等学校	建築インテリア科3年	澤田一海
19	入賞	愛知県立碧南工業高等学校	建築科3年	中村未来
20	入賞	東京都立総合工科高等学校	建築都市工学科3年	奥匡哉
21	入賞	松山聖陵高等学校	建築科2年	高橋征慈
22	入賞	東京都立墨田工業高等学校	総合技術4年	鈴木翔
23	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	富田葉奈
24	入賞	千葉県立市川工業高等学校	建築科3年	山田梨左
25	入賞	広島市立広島工業高等学校	建築科2年	定行桃

課題4:木造平家建専用住宅CAD製図

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
31	14	28	13	3	1

No	賞	学校名	科名学年	生徒氏名
1	金賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	三田勇太郎
2	銀賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	小川雄也
3	銀賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	家藤麻里菜
4	銅賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	末木聖人
5	銅賞	関東第一高等学校	建築ビジュアル科2年	室井いずみ
6	銅賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	八幡直樹
7	銅賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	高岡京子
8	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科3年	佐々木悠斗
9	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科3年	小林奈々
10	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	宮田玲

課題5:木造2階建専用住宅のプレゼンテーション作品

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H23	H22	H23	H22	H23	H22
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
16	16	11	15	5	1

No	賞	学校名	科名学年	生徒氏名
1	金賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科3年	小林奈々
2	銀賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科3年	田中涼
3	銀賞	栃木県立小山北桜高等学校	建築システム科2年	大久保友寿
4	銅賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科3年	野沢実沙
5	銅賞	北海道札幌工業高等学校	建築科2年	福井柁矢
6	銅賞	佐賀県立鳥栖工業高等学校	建築科3年	工藤友美
7	入賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科3年	大垣潤弥
8	入賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科3年	堀江翔也
9	入賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	力石翔
10	入賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	楠本卓巳
11	入賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	神野江一郎
12	入賞	千葉県立市川工業高等学校	建築科3年	高山香織

5 審査について

(1) 賞の選出

- ①最高作品を金賞とし、順次、銀賞・銅賞・入賞とする。
- ②定時制課程から入賞以上を選出する。

(2) 審査方法

①一次審査

- ア. 審査は委員全員でおこなう。
- イ. 原図を使用する。
- ウ. 各課題参加数の1/5程度(最大20点程度)を目安に絞り、入賞作品の対象とする。
- エ. 審査基準は、各課題ごとの観点に従う。
- オ. 作品を相対的に比較する。

②二次審査

- ア. 審査は委員全員でおこなう。
- イ. 複写図面を使用し、チェック内容を書き込む。
- ウ. 入賞作品以外の作品で再度入賞以上に該当するものがないか確認する。

③最終決定

- ア. 委員全員の投票により決定する。

(3) 課題別審査の観点

①課題1「軒先マワリ詳細図」

注意:最新版の教科書を用いているか。

- ア. 図が正確に描かれているか。(部材の大きさや厚み・金物等の形状・部材相互の距離等)
- イ. 明瞭な図であるか。(線の使い分け・線の始端から終端までが均一な太さ、濃さであるか)
- ウ. 文字や数字は明瞭で正確であるか。(抜けている、大きすぎる、小さすぎる、形状がバラバラ等)
- エ. その他

松丸太に関して

- ・太鼓落しを表現する曲線はフリーハンドより定規使用の方が良い。
- ※ただし曲線がフリーハンドで描かれていても失格ではない。

野縁に関して

- ・位置は軒桁中心から測られているか。

天井に関して

- ・位置が製図例2-6に基づいているか。

線の使い方に関して

- ・下書き線が濃すぎないか。
- ・仕上げ線(断面線)が極端に太すぎないか。

②課題2「木造平家建専用住宅」

- ア. 敷地の形状や配置、外構計画に工夫があるか。(敷地面積が限度を超えていないか)
- イ. 平面図は正確に描かれているか。(教科書の内容と違っていないか)
- ウ. 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類、位置等が平面図と異なっていないか)
- エ. 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)
- オ. 屋根の形状に工夫があるか。(機能を充たす屋根の形状であるか)
- カ. 図面相互に食い違いがないか。
- キ. 明瞭な図であるか。(線の使い分けが正しいか)
- ク. 製図規約を重視しているか。

ケ. その他

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線、隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・隣地境界線を実線で描く等、線の使い方を間違えていないか。
- ・床の仕上げを表現している。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。

立面図に関して

- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・平面図に記された切断線の位置との食い違いがないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。
- ・ロフトの天井が極端に高くないか。

屋根伏図に関して

- ・屋根勾配や寸法が記入されているか。
- ・屋根仕上げに用いた材料名称が描かれているか。
- ・断面線の表示がされているか。

③課題3「木造2階建専用住宅」

- ア. 計画性を重視する。
- イ. 配置・平面・立面・断面・外構の計画に工夫があり機能的であるか。
- ウ. 構造的に無理がないか。
- エ. 製図規約に配慮しているか。
- オ. その他

設計主旨に関して

- ・主旨と計画に食い違いがないか。

配置兼平面図に関して

- ・家族構成に対して、所要室や各室の面積に配慮しているか。
- ・将来的に車椅子を利用する者に対しても配慮した計画であるか。
- ・外構計画において高低差に配慮しているか。
- ・車と駐車スペースの大きさや表記方法に間違いがないか。
- ・平面図に家具が記入されているか。
- ・平面図に柱が抜けていないか。
- ・平面図に記された階段の段数は正確か。
- ・平面図に記された階段には、手すりを設けているか。

立面図に関して

- ・平面図とのくい違いがないか。
- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・形状が不適切でないか(異常に高すぎる, 低すぎる)。
- ・高さに関する寸法の記入があるか。

④課題4「木造平家建専用住宅」(CAD製図)

注意: 2枚提出されているか。(1枚しか提出されていない場合は審査対象外とする)

- ア. 敷地の形状や配置・外構計画に工夫があるか。(敷地面積が限度を超えていないか)
- イ. 平面図は正確に描かれているか。(教科書の内容と違っていないか)
- ウ. 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類, 位置等が平面図と異なっていないか)
- エ. 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)
- オ. 屋根の形状に工夫があるか。(機能を充たす屋根の形状であるか)
- カ. 図面相互にくい違いがないか。
- キ. 明瞭な図であるか。(線の使い分けが正しいか)
- ク. 製図規約を重視しているか。
- ケ. その他
 - ・ロフトを計画した場合は, それを平面図や断面図等に描いているか。
 - ・手書き表現で描かれているか。(CAD特有の表現のままでないか)

⑤課題5「木造2階建専用住宅」のプレゼンテーション作品

注意: 2枚提出されているか。(1枚しか提出されていない場合は審査対象外とする)

- ア. プレゼンテーション・表現を重視する。
 - ・パース, 模型, 説明, 着色等の優劣で判断する。
- イ. 製図規約については考慮しない。
- ウ. その他
 - ・計画や表現はオリジナリティがあるか。
 - ・各図面間での整合性はあるか。
 - ・縮尺や延べ面積については考慮しない。

6 審査講評

課題1 軒先マワリ詳細図

金賞図面は、教科書の図面を正確かつ丁寧に模写した図面であり、各部品の形状の作図も正確でした。

金賞以外の図面についても明瞭で力強い線を引く作品等、優秀な図面もありました。

アドバイス:次年度は、部材の基本寸法、線の使い分けだけでなく、文字や数字の丁寧さや、正確さにも注意して下さい。

課題2 木造平家建専用住宅

金賞図面は、図面相互に、くい違いがなく完成度の高い素晴らしい作品でした。造園計画も明瞭で、立面図の表現では細部にまで拘った素晴らしい作品でした。

金賞以外の図面についてもデザインに優れた図面もありました。

アドバイス:次年度は、エクステリア空間の計画と表現にも多くの力を注いで下さい。さらに、屋根伏・立面・断面の計画においては、形状の工夫のみでなく、その役割とデザインのバランスを考え、まとめられるように努力して下さい。

課題3 木造2階建専用住宅

金賞図面は、総合的に表現力が素晴らしい作品でした。また、構造・法規の整合性だけでなく環境にも配慮した計画等、完成度の高い作品でした。

金賞以外の作品についても、優秀な作品がありました。しかし、基礎的な構造計画に無理がある作品や、全体の完成度が低い作品も目立ちました。さらに、基礎的な製図の知識(壁の厚み等)に欠けた作品もありました。

アドバイス:個性的に、かつ創意工夫を繰り返し、作品の特徴的な部分を分かりやすく表現すれば、完成度が高まると思います。

課題4 木造平家建専用住宅CAD製図

金賞図面は、屋根形状に特徴を持ちながらも、全体的なバランスを考えた素晴らしい作品でした。特に屋根に設けた頂側窓のデザインは工夫されており、その形状を伝えるために屋根伏図を上手く活用していると思いました。立面・断面図で見事に空間の豊かさを表現した作品でした。

金賞以外の図面についても、優秀な作品がありました。

アドバイス:各自の設計となる立面・断面・屋根伏図の計画力不足およびCADを使用した基本的な製図力の未熟さが気になりました。次年度は、工夫した内容を、CADを活用してより良く表現することに多くの時間を費やして下さい。

課題5 木造2階建専用住宅のプレゼンテーションCAD作品

金賞図面は、主旨と計画が一致したプレゼンテーション力に優れた作品でした。

金賞以外の図面についても、高精度なパースやスケッチを用いた優秀な図面がありました。しかし表現力不足が目立ちました。

アドバイス:次年度は、建築物の全体像がわかるような、プランニング・レイアウト・作図表現等、もっと自由な遊び心のある作品を期待します。

2012.01.19

製図コンクール運営委員長 鈴木浩之